



平岡公園、いま、むかし

平岡公園（札幌市清田区）は、紅梅・白梅、合わせて約1,200本が植栽されており、毎年5月には満開の花と香りを楽しむことができます。

公園が造成される前は里山として利用されており、炭焼きが盛んに行われていました。園内の谷筋は小川が流れ、水が豊富で、主に水田として利用されていました。

また、大正から昭和35年頃までは、平岡、里塚でリンゴ栽培が行われていました。

昭和36年、平岡を含む豊平町が札幌市と合併し、昭和47年、政令指定都市の指定に伴い、豊平区となりました。

昭和57年から整備が進められていた平岡公園は、平成3年に一部が開園、平成9年、豊平区から分区し人口10万人を擁する清田区となりました。

園内では現在も近隣住民が森づくりを行っており、湿地の植物や生物を見ることができます。一年中自然に親しむことができる平岡公園に、出かけてみませんか。

平岡公園、梅林

